



働く貧困層の実態を県として掌握せよ

森脇ひさき県議が一般質問

森脇県議は、若者の雇用対策についてとりあげ、ワーキングプアやネットカフェ難民など、働く貧困層実態が社会問題化していることをあげ、「このような実態を、県として正確に掌握する必要がある」と指摘しました。

これに対し、県産業労働部長は、県内三方所の若者就職支援センターに相談に訪れる青年の約九割が無職または非正規雇用者だとして、「勤務状況、退職理由などのついてのアンケートを実施するなどとして、実態把握に努めたい」と答えました。

う求めること、同時に、市町村とも協力し監視体制を強めるよう求めました。

- ### 質問項目
- 1 子どもの暮らしに関連して
 - ①国民健康保険制度について
 - ②後期高齢者医療制度について
 - ③障害者自立支援法について
 - ④障害者への医療費補助制度について
 - ⑤子どもの医療費補助制度について
 - 2 若者の雇用・労働問題
 - 3 錦海塩田跡地開発問題
 - 4 チボリ問題
 - 5 憲法と平和の問題



政務調査費の領収書公開の陳情は採択を

武田英夫県議が討論

武田県議は、「倉敷チボリ公園県整備施設及び土地の財産貸付け」の議案について、今回の「財産の一年間貸し付け」は、チボリ事業が今後どうなるかは別にして、必要な手続きであることは確かだが、「現時点で早期に『一切の税金投入は止める』という英断を知事と議会に求める意味を込めて、反対の態度を表明しました。」

福祉・医療に関する陳情を自民党県議団が全て継続しないしは不採択にしたことに対しては、強く批判するとともに、特に、精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引に関する三本の陳情については急いで採択をすべきものであることを強調しました。

政務調査費の領収書公開問題についての陳情についても、この間、岡山市、倉敷市、玉野市で領収書公開が決まるなど、

新しい委員会の所属

武田英夫	▼総務委員会
	▼子ども応援特別委員会
	▼議会運営委員会(オプザバー)
森脇ひさき	▼生活環境保健福祉委員会
	▼決算特別委員会
赤坂てる子	▼文教委員会
	▼行財政改革・道州制等特別委員会

主な議案と請願・陳情の結果

【議案・発議】	共産	自民	民	県公	結果
倉敷チボリ公園県整備施設及び土地の財産貸付け1年延長のための条例改正	×	○	○	○	○
県施設の管理運営に指定管理者制度を導入するための条例改正	×	○	○	○	○

【請願・陳情】	共産	自民	民	県公	結果
▼精神医療・福祉の充実と精神障害者への偏見・差別解消のための啓発活動を強力に推進することについて。▼社会的ひきこもりの実態調査と、その積極的な対策を早急に検討することについて。▼低所得者のため、成年後見制度の充実を図り、制度についての広報活動を積極的に行うことについて (林友の会)	○	×	○	○	×
▼外来にかかると医療費を助成し患者負担の軽減を図ることについて。▼精神障害者に対する県単独の交通費助成を創設することについて (林友の会)	○	×	○	×	×
岡山県内在住の精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引に関することについて (精神障害者当事者団体ゆーとびあ岩田、林友の会)	○	△	○	○	△
教育予算の拡充を求める意見書の採択を求めることについて (県教職員組合)	○	×	○	×	×
政務調査費収支報告書に領収書等の添付を求めることについて (NPO法人市民オンブスマンおかやま、市民本位の岡山市政をつくる会)	○	△	○	△	△



元衆議院議員
春名なおあき

参議院の
比例代表は
政党名または
候補者名で



党書記長
植本かんじ

いまこそ必要
「たしかな野党」



単県医療費 公費負担制度

元の無料に戻せ

障害者に、年間 18億円もの負担増 赤坂てる子県議が要求

岡山県が、障害者・ひとり親家庭・老人などの単県医療費公費負担制度を大改悪し、八ヶ月がたちました。香川県など他県では無料や低額な負担であるのに、岡山県では原則一割負担を導入しました。障害一級・二級の重度心身障害者にとっては、命に関わる負担です。障害者からは、「あまりの負担に病院に行くことを我慢している」など重い医療費負担に苦しみの声があがっています。

赤坂県議は、元の無料に戻すべきこと、県が影響調査を行うことを繰り返し求めてきました。この度、県障害福祉課は、昨年十月一ヶ月の調査結果をまとめました。それによると障害者医療だけで、一ヶ月間で新たに一億五千万円の負担が生じていることが明らかになりました。これは、年間に換算すれば十八億円という重い負担となります。同時に複数医療機関にかかり負担上限を超えた場合の払い戻しに半年近くかか

っている場合もあることも明らかになりました。これに対して、県内の市長会は、「他都道府県と比べ非常に厳しい」自己負担であると指摘し、県への「一部自己負担限度額を引き下げ」や「所得の確認範囲の改善」を求めています（〇七年五月）。また、独自に自己負担限度額の軽減策や独自の所得基準をもうける市町村は十市町村に増えま

共産党は今回も 自主的に全面公開



五月三十一日から、二〇〇六年度の政務調査費に関する情報公開が始まりました。今回も、領収書も含め自主的に全面公開しているのは共産党県議団だけです。

議会運営委員会では、六月二十八日の議会運営委員会では、公開の陳情に対し、共産党と民主県民々が「採択」、自民党と公明党が「継続」を主張しました。自民党と公明党の態度は、「新しい議会の任期中に検討する」が「時

どうなっている？ 政務調査費の領収書公開問題

間をかけて検討すべき」ということで、限りなく先延ばしするものと言われても仕方がないものです。

主目 団長の記者会見での 民県 言明は何だったのか？

四月二十八日付け「中国新聞」に、住吉新団長が県庁記者クラブでの会見で、会派として昨年度の領収書の自主公開に踏み切ることを表明した記事が掲載されています。しかし未だ何の動きもありません。

公明党 千代田区の例を出すなら、 無条件で公開を

景山団長は、千代田区議会の審査会（第三者機関）を例にだして、そういう所でまず検討を提案しています。しかし千代田区では、制度ができた当初から領収書は区民に公開したうえで、さらに審査会を置いてチェックしているのです。

2007年7～9月の議会日程（予定）

委員会の積極的な視聴を

7月13日(金)	各常任委員会	10時30分～	全員	9月3日(月)	議会運営委員会	10時30分～	武田
7月27日(金)	(各常任委員会)	10時30分～	全員	9月11日(火)	決算特別委員会	10時30分～	森脇
8月10日(金)	各常任委員会	10時30分～	全員		決算特別委員会	10時30分～	森脇
8月24日(金)	(各常任委員会)	10時30分～	全員		行財政改革・道州制等特別委員会	10時30分～	赤坂
8月29日(水)	各常任委員会	10時30分～	全員	9月25日(水)	子ども応援特別委員会	10時30分～	武田
	決算特別委員会	10時30分～	森脇		地域振興・団塊世代特別委員会	13時～	
	行財政改革・道州制等特別委員会	10時30分～	赤坂		文化振興・環境対策特別委員会	13時～	
8月30日(木)	子ども応援特別委員会	10時30分～	武田	9月26日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員
	地域振興・団塊世代特別委員会	13時～		9月27日(金)	議会運営委員会	10時30分～	武田
	文化振興・環境対策特別委員会	13時～					

9月定例県議会は、9月10日開会、28日閉会の予定。代表質問は13・14日、一般質問は19・20・21日（18日が予備日）の予定。日本共産党からは、赤坂てる子県議が一般質問、森脇ひさき県議が討論に立つ予定です。諸願・陳情の受付は、9月12日(木)までです。

活動日誌

6月5日 米軍機による低空飛行問題で春名なおあき元衆院議員と国へ申し入れ



左から、武田県議、植本かんじ氏、春名なおあき氏（外務省で）

5月18日 米軍機による低空飛行問題で、地元住民とともに県に申し入れ



5月8日 国民健康保険問題で県に申し入れ



4月27日 チボリ・ジャパン社のT・I社との契約更新交渉打ち切り決定を受け、県に申し入れ

